

特集 集い、憩う。地域の拠りどころ

わが まちの 銭湯

「大きなお風呂」に肩までつかかり、ホッと一息。湯上がりに冷えたドリンクで喉を潤しながら、世間話にも花が咲きます。わがまちには60年以上続く銭湯が5カ所。それぞれに、包み込んでくれる温かさとお愛され続ける魅力に溢れていました。



にて灯される「がんがら火」の“大文字”に、地元愛も高まります

創業時から変わらない「平和温泉」の蛇口



約20年前にフロントの形に改装した「五月湯」のロビー。シニアの方々がよく井戸端会議を楽しんでいるそうです



透明度の高い地下水を汲み上げて沸かしている「平和温泉」の湯

変わらない温もりがくれる安心感
60年以上地域を見守る、まちの銭湯

懐かしさを感じる昔ながらの雰囲気、改装によって洗練されつつも温かみの残る空間、馴染み深い五月山の風景が見られる浴室など、現在も営業している5つの銭湯にはそれぞれの色があります。そしてフロントには、いつもの顔。家族経営のため馴染み深い、変わらない温かさが迎えてくれる、この親近感と安心感が、まちのお風呂屋さんの魅力のひとつといえます。

昨今銭湯のない地域も見られるなか、5つの銭湯が地域を見守り続けている本市。その起源について確かな定説は存在しませんが、「風呂屋 拾軒」と書かれた、天保年間（1830〜40年）のものと思われる文献が存在しているため、この時代にはすでに銭湯のような場所がこのあたりに定着していたと考えられます。昭和初期（5〜10年）の町並み、を復元したマップを見ると、「五月湯」に「くれは湯」、2カ所の名前を確認することができました。さらに「昭和27年『城南温泉』開業、昭和29年『共栄温泉』開業」との資料があり、昭和38年ごろに「平和温泉」となる前身の銭湯は、昭和7年から営業していたとのこと、いずれの銭湯も60年以上地域に愛され続けています。

その長い歴史のなかで、「一番記憶に残っています」と、「城南温泉」の二代目で、大阪府公衆浴場業生活衛生同業組合の副理事長も務めていた小柳津正博さんが振り返ったのが1995年に発生した「阪神・淡路大震



どこか懐かしい気持ちになる「くれは湯」の脱衣場



五月山の風景が目の前に広がる「城南温泉」。五月山の大明ヶ原

「災」のときのこと。当時、被害の大きかった兵庫県では1週間お風呂に入れないという人もいたほど、ライフラインがなかなか復旧しなかったそうです。一方、比較的復旧の早かった大阪府。兵庫県との県境に位置する本市には、すぐに復旧した阪急電車を利用して、たくさんの方がお風呂を求めてやってきました。そのとき、阪急電鉄から市に「お風呂マップはないですか」という問い合わせが入ったため、急遽、手書きの銭湯マップを作成し、改札で配布することになりました。「なくなったのでまた持ってきてください」という電話が何度もかかってくるほど、駅、そして市内の銭湯は人で溢れていました。「店の前の行列が絶えなかった光景を、今も覚えています」（小柳津さん）。



震災時に作成した実際のマップ



種類豊富な「城南温泉」のドリンク

人の輪、地域の輪を繋ぐ 「帰りたくなる」憩いの場として

本市の銭湯で現在実施している特典が3つあります。昭和49年から、毎月15日と30日に実施される「高齢者割引」に、平成18年から毎週土曜日、親子での入浴がお得になる「親子ふれあいDAY」。そして、大阪府下で本市が初めて設けた「中学生料金」。どれも各世代が銭湯を利用しやすいように、地域のふれあいが増えるように、との思いで始められました。決まった時間に自然と集まり、近況を報告し合うシニアたち、週末、大きなお風呂に入ってからご飯を食べに行くという家族も増え、中学生

入浴料金

大人(高校生以上)	440円
中学生	300円
中人(小学生)	150円
小人(0歳~幼稚園児)	60円

★高齢者割引(毎月15日と30日)
65歳以上が対象 440円→200円

★親子ふれあいDAY(毎週土曜日)
大人1人+小学生以下の子ども1人の計2人で400円に

※その他、サウナや貸タオルなどの料金は銭湯によって異なります。

各銭湯の詳細は次のページへ!

足が痛いなかでもほぼ毎日来るおばあちゃん、お風呂で会う人たちとの会話を楽しみながら体を温め、帰るころには「気持ちよかった」。もう足痛くないわあ」と笑顔で帰っていく、小さい頃連れられて来ていた子が、大きくなってからも来てくれて、声をかけるととても嬉しそうにしてくれるなど、どの銭湯も人と人の繋がりを感ぜられる温もりに溢れています。ここに来れば1人じゃないと、繋がりを作るための場としてはもちろん、体も心も癒やす地域の拠りどころとして、これからも変わらず、家族のような温もりがここにあります。



「共栄温泉」にある昔ながらのマッサージ機とドライヤー。どちらも現役



体に良いと言われている塩風呂には毎日バケツ一杯の塩を

93歳現役の番頭さんにそのお嫁さん、またそのお嫁さんが立つ「共栄温泉」には、「おばあちゃんに元気をもらえる」というファンも！ロビーで団らんを楽しむ人も多いそうです。

☎ 761・9212
住 豊島北 2-4-4
営 15:00 ~ 24:00
休 金曜日 P 11台



広さに驚き！



「石橋駅」から徒歩 13分



2Fには露天風呂とサウナが



子ども用の浅いお風呂の底



廣島さん

3世代で！

番頭

受け継がれる女性番頭の笑顔が癒し
共栄温泉

☎ 761・8196
住 石橋 1-1-5
営 14:15 ~ 25:00
休 月曜日 P 提携駐車場
※詳細は直接問い合わせください。



表紙のお風呂はココ！



「石橋駅」から徒歩 1分



肌触りが気持ち良いと評判のお風呂

昨年7月にリニューアル！新しい過機を導入した水風呂は、よりまろやかな肌触りに。「いろんな人に来てほしい」と、落語や音楽フェスなどのイベントも不定期で開催。

飲めるほどキレイな地下水を使用
平和温泉



中野さん

番頭



サウナは通常とスチームの2種

池田市 オフロスキー 湯めぐり案内

☎ 751・7489
住 城南 1-2-14
営 14:30 ~ 24:00
日曜日は8:00 ~ 12:00も営業
休 第1・3月曜日 P 15台



五月山タイル絵はココ！

「池田駅」から徒歩 8分



「操兵衛」という名の電子マッサージ風呂が体をほぐします 毎週火・木・土曜日に能勢の野菜を販売



小柳津さん

「人が集まって、ホッと一息つける場所」をめざしたさまざまな取り組みがあります。先代の小柳津正博さんは「浴場組合」での働きを評された、「旭日単光章」受章者。

ホッと落ち着く街のオアシス
城南温泉



肌触りの良い井戸水が自慢

水と湯に交互につかることで爽快感が得られる、自然な温度の井戸水を用いた水風呂ならではの「西式温冷浴」がオススメ。保育園と協力して「浴育」にも尽力されています。

井戸水ならではの爽快感と入浴法
五月湯



「池田駅」から徒歩 2分

☎ 751・2619
住 栄町 10-17
営 15:00 ~ 24:00
休 第1・3火曜日 P 無



大屋さん



子どもと並んで座れる石のイス



赤ちゃん台の数は市内最多！ お風呂上がりにゆっくり

駅近なので仕事の帰りや買い物でたら、飲みに行く前などに来る人が多いとのこと。棚に置かれている私物からも、昔からの常連さんの多さが伝わってきました。

古き良き雰囲気心が和む
くれは湯



「西式温冷浴」の詳しい入浴法と期待される効果について



お風呂のマナーを通して子どもの成長を促す「浴育」

「池田駅」から徒歩 6分

サッパリ爽快！



宮田さん

☎ 753・8807
住 槻木町 5-3
営 14:00 ~ 25:00
休 木曜日 P 10台